

會務報告

第26卷第7號 昭和15年7月

役員會

第6回理事會 (昭. 15. 5. 20)

出席者：中村會長，谷口，吉田兩副會長，和田理事外5名。

議事

1. 會誌廣告料改正の件，次回協議。
2. 大陸研究に關する座談會は出席者の都合を質し開催日決定。

3. ポルトランドセメント業技術會開催のセメント品質に關する座談會土木關係出席者に次の諸君を選出。

吉田徳次郎君	和田重辰君	松村孫治君
伊藤令二君	藤井眞透君	金子 樞君
坂本信雄君	岡田 實君	佐藤忠三郎君
吉田朝次郎君	沼田政矩君	内山 實君
稻葉權兵衛君	目黒雄平君	大石 勇君
目黒清雄君	板倉 誠君	佐藤志郎君

4. 水理公式調査委員會を設置することに決定。
5. 入退會を別記の通り承認。

第7回理事會 (昭. 15. 6. 3)

出席者：中村會長，吉田副會長，廣瀬理事外2名。

報告

1. 定款變更を文部大臣より認可。
2. 東北支部總會及視察旅行開催。
3. 朝鮮支部發會式及講演會開催。
4. 朝鮮支部幹事橋本敏男君退任，星野三郎君就任。
5. 關西支部巡回講演會開催。

議事

1. 地方委員（鐵道關係）招待午餐會を開催することに決定。
2. 水理公式調査委員會の要綱を次の如く決定し委員長及委員は次回に選定。

1. 本委員會の主旨は從來使用せられつゝある水理公式を検討整備して其の使用に當りて適正を期するたため下記事項に就き調査研究するものとす。

- (1) 水理公式名稱，用語及記號の統一。
- (2) 水理公式は次の四部門に分ち實驗公式を主として調査するものとす。

第1部門 河川及溪流 第2部門 溝渠
第3部門 管路 第4部門 海波

2. 本委員會の事業は昭和15年7月に開始し昭和16年6月を以て終了するものとす。但し調査未了の場合は期間の延長を妨げず。
3. 本委員會に委員長1名，委員若干名，幹事2名を置く。

3. 朝鮮支部昭和15年度收支豫算を別紙（省略）の通り承認。

4. 豫備費流用の件を別表（省略）の通り決定。

第4回常議員會 (昭. 15. 5. 20)

出席者：中村會長，谷口，吉田兩副會長，和田常議員外11名。

報告

1. 第29回視察旅行を別紙（省略）プログラムの通り開催。
2. 關西支部見學會記事。
3. 日本工學會社員總會記事。
4. セメント増産及配給に關し商工省當局と懇談の經過。
5. 定款改正委員會委員に別紙諸君（省略）を依頼。
6. 大陸研究に關する座談會に別紙諸君（省略）の出席を依頼に決定。

7. 4月中入退會別紙（省略）の通り承認。

議事

1. 朝鮮支部昭和14年度決算別紙（省略）承認。

總務部記事

午餐會 (昭. 15. 5. 18)

鐵道省建設局關係土木學會地方委員招待。

會場 東京會館，出席者堀越清六君外22名，谷口吉田兩副會長外常議員8名，前會長4名。

午餐會 (昭. 15. 5. 31)

鐵道省工務局關係土木學會地方委員招待。

會場 東京會館，出席者阿曾沼均君外18名，中村會長，谷口，吉田兩副會長外常議員12名，前會長1名。

編輯部記事

第6回會誌編輯委員會 (昭. 15. 6. 5)

出席者：廣瀬委員長，外13名。

1. 第26卷第6號登載原稿謝禮決定。
2. 第26卷第8號登載原稿を次の如く決定。
論說報告：ローゼ桁に關する方列論的考察（淮，平井 敦）；度器のみによるトラバース測量法（會，安東功）；偏歪修正の諸問題（淮，武田通治）。
彙報：空中寫真測量用基準點決定に關する經驗（淮，武田通治）。
抄録：原稿到着が遅れた爲審議未了なるも委員の審議終了次第登載すること。
3. 鋼鐵道橋設計示方書案を第26卷第7號に會告として登載すること。

- 4. 彙報を至急各委員より募集すること。
- 5. 抄録謝禮を従来より3割程度増加することとし、之が具體案に関しては抄録委員に一任すること。

調 査 部 記 事

コンクリート調査委員会 (第18回堰堤コンクリート小委員会) (昭. 15. 5. 16.)

出席者: 沼田委員長, 吉田委員外 12 名。

協議事項

- 1. 堰堤用現場コンクリート壓縮強度試験標準方法 第 1. 2. 3. 4. 5. 6 條を逐條審議。

コンクリート委員会 (第19回堰堤コンクリート小委員会) (昭. 15. 5. 30.)

出席者: 吉田委員外 11 名。

協議事項

- 1. 堰堤用コンクリート壓縮強度試験標準方法(案) 第 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 條を逐條審議。
- 2. 第 10 條保留。
- 3. コンクリート洗滌分析試験標準方法(案) 第 1, 2 條を審議。

コンクリート調査委員会 (第20回堰堤コンクリート小委員会) (昭. 15. 6. 6.)

出席者: 吉田委員外 12 名。

協議事項

- 1. 第 48 條養生は修正案を書き改めること。
- 2. 第 53 條乃至第 58 條を逐條審議。

關 西 支 部 記 事

巡回講演會 (昭. 15. 5. 25.)

會場: 岡山市岡山縣議事堂 來會者約 300 名。

映畫: (1) 上海陸戰隊, (2) 航空測量。

講演: 河水統制旭川堰堤 笈 斌 治君
航空測量 伊集院 久君
兒島灣開鑿 井上 敬 太君

東 北 支 部 記 事

第 3 回總會 (昭. 15. 5. 4.)

會場: 花巻温泉紅葉館。

議事: 昭和 14 年度事業報告及決算報告。

講演: 田澤湖利用發電計畫に就て 渡邊義道君

視察見學旅行 (昭. 15. 5. 4, 5.)

第 1 日第 1 班: 參加者 62 名。

視察見學場所: 磐井川, 巖美溪, 毛越寺, 中尊寺等。

第 2 班: 參加者 30 名。

視察見學場所: 盛岡市, 北上川及四號國道, 夕願瀨橋等。

第 2 日全班: 參加者 92 名

視察見學場所: 松尾鑛山。

中 部 支 部 記 事

第 2 回役員會 (昭. 15. 4. 16.)

出席者: 田淵支部長, 上井評議員外 7 名, 比企野幹事長, 今泉幹事外 4 名。

議 事

- 1. 春季見學旅行の件。
- 2. 木曾川水利調査委員会設置の件。
- 3. 夏期講習會の件。
- 4. 愛知部會講演會の件。
- 5. 其 他。

視察見學旅行 (昭. 15. 5. 4, 5.)

參加者 43 名。

視察見學場所: 伊勢神宮參拜, 神都計畫概要, 實地視察, 二見浦, 鳥羽港, 樞原神宮, 畝傍御陵參拜, 神苑視察。

第 1 回中部支部愛知部會講演及座談會 (昭. 15. 6. 1.)

會場: 名古屋ホテル 出席者 59 名。

講演: 鐵鋼防錆法パーカライジングと一般塗裝に就て 里見雄二君 永井由太郎君
水源に就て 平田徳太郎君

以上終了後座談會を開く。

そ の 他 記 事

土木學會誌第 26 卷第 6 號を發行成規の手續を了し, 全會員に配布せり。

入 會 及 轉 格 會 員

(敬稱を略す)

特 別 員 (入 會)

京城電氣株式會社	武者 鍊 三	2 級
江界水力電氣株式會社	榛葉 孝平, 吉田 英三郎, 森 鼻 至 良	2 級
京春鐵道株式會社	鹽川 濟吉, 富田 直次, 小池 英吉	3 級

會 員 (入 會)

木 村 晃 高 井 正 元 月 岡 正 三 花 田 讓 一 杉 山 義 徳

准員 (入會)

井	原	重	毅	池	田	謙	治	浮	田	行	夫	鹽	谷	正	元	小	山	日	出	男	大	石	政	雄
真	山	正	治	加	藤	一	雄	笠	井	幸	明	川	田	堤	治	川	端	與	三	郎	木	下	藤	太
木	津	勇	勇	黑	須	金	平	古	閑	輝	幸	佐	木	幸	一	齋	藤	五	郎	郎	柳	原	文	太
島	島	博	博	鈴	木	篤	勇	館	三	三	二	谷	垣	志	東	海	林	之	弘	友	林	恒	新	
中	田	彥	彥	成	澤	次	志	西	出	夫	夫	野	口	二	濱	野	正	助	林	松	松	下	治	
平	室	男	男	平	野	正	郎	福	井	男	男	藤	山	兵	松	井	正	一	松	山	上	上	孝	
三	松	光	光	溝	口	倉	信	宮	崎	郎	郎	毛	利	衛	柳	沼	清	清	山	山	山	山	雄	
行				井	澤	吉	吉	佐	野	三	郎	渡	邊	惠										

學生員 (入會)

足	立	力	安	孫	子	文	男	秋	山	敏	章	伊	藤	務	猪	狩	忠	也	池	田	博
池	邨	幸	岩	下	秀	雄	雄	上	田	庄	一	小	川	三	小	澤	達	達	及	川	知
大	島	一	大	塚	和	孝	孝	小	島	滿	二	洪	思	信	籠	夫	夫	及	木	久	
佐	野	夫	清	水	元	治	治	篠	能	立	仲	高	橋	光	竹	見	見	佐	口	正	
津	川	一	土	井	淳	弘	弘	得	村	直	通	岡	澤	裕	奧	春	春	谷	田	康	
加	藤	人	川	口	彦	祐	祐	川	堺	重	雄	川	本	美	河	貞	貞	恩	下	茂	
中	野	努	栗	田	達	諭	諭	小	阪	芳	幸	富	山	生	中	康	康	木	島	三	
橋	口	彦	西	龜	信	夫	夫	西	田	正	勝	西	光	郎	西	良	良	中	野	村	
福	富	喜	橫	浦	鐵	雄	實	濱	田	紀	已	東	太	修	平	益	益	野	弘	光	
村	山	宏	八	木	史	實	男	前	田	純	良	三	俊	造	菱	鷹	鷹	弘	村	松	
渡	邊	明	渡	邊	史	郎	郎	安	永	治	治	山	浦	治	吉	二	二	村	松	承	
								沖	垣	皓	皓	志	口	忠		謙	謙	虛	久	承	

會員 (轉格)

淺	田	喜	久	高	畑	政	信	中	野	爭	珠	中	村	唯	郎	藤	森	謙	一					
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--

准員 (轉格)

阿	部	祈	安	藝	元	清	藤	太	郎	青	木	康	夫	夫	夫	淺	見	重	夫	天	川	勉
井	上	六	伊	地	堅	一	藤	定	一	伊	清	二	郎	郎	郎	伊	藤	拿	戶	伊	光	郎
石	野	學	伊	塚	久	男	伊	五	郎	池	英	三	郎	郎	池	田	吉	次	池	藤	三	
岩	河	久	飯	知	一	清	池	春	夫	石	敏	敏	夫	夫	石	橋	多	聞	今	田	獲	
小	橋	彥	石	久	包	夫	上	一	夫	植	一	一	健	健	內	田	一	郎	浦	田	清	
岡	原	勇	上	一	正	德	大	武	秀	大	野	義	郎	郎	和	田	四	雄	岡	田	之	
奧	村	稔	大	利	一	司	岡	守	明	岡	部	永	賢	賢	大	谷	重	通	沖	正	也	
神	九	夫	岡	博	利	夫	加	正	夫	河	野	野	昌	昌	沖	野	正	隆	片	山	夫	
河	思	純	加	哲	明	明	河	鶴	智	岸	川	川	巖	巖	河	戶	隆	洗	河	野	茂	
小	友	清	川	利	助	助	古	四	郎	古	北	北	二	二	楠	塚	彦	彦	栗	原	也	
坂	博	司	岸	武	平	平	清	類	清	清	賀	賀	男	男	佐	原	夫	夫	杉	藤	雄	
杉	信	二	小	壯	彦	彦	鈴	一	次	鈴	水	水	郎	郎	菅	木	司	司	杉	知	也	
鈴	隆	吉	澤	節	溫	溫	關	慎	吾	關	木	木	二	二	菅	田	厚	厚	鈴	俊	郎	
田	倫	治	高	節	博	博	田	朔	郎	田	原	原	弘	弘	菅	高	年	年	田	耕	次	
高	憲	健	寺	孝	一	一	高	智	造	高	橋	橋	一	一	菅	高	夫	夫	高	八	市	
鶴	定	宜	內	昌	緒	緒	藤	智	三	中	條	條	雄	雄	菅	谷	郎	郎	田	彌	勤	
內	二	雄	成	幹	夫	夫	中	辰	篤	濱	田	田	策	策	菅	豐	治	治	村	素	章	
永	拓	生	原	二	郎	郎	日	幸	雄	日	館	館	清	清	菅	中	美	美	喜	久	功	
原	明	三	古	辰	夫	夫	北	征	夫	北	賢	賢	次	次	菅	原	水	水	久	市	功	
藤	利	夫	古	辰	夫	夫	松	井	夫	松	井	居	正	正	菅	本	秀	秀	本	本	本	

君
等。
顧
野
地
神
6.1.)
就
君
君
了
了

會 務 報 告

44

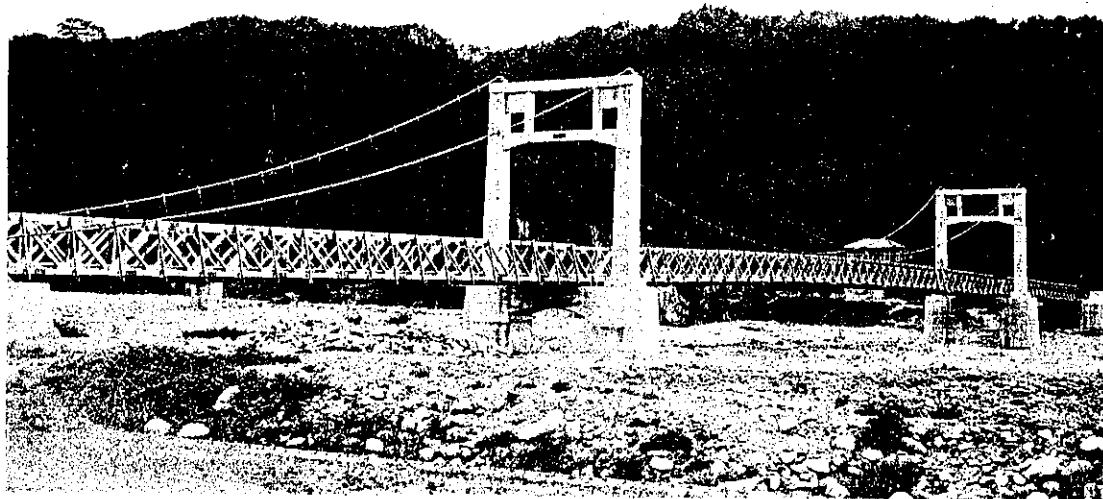
- 九宮最安米渡
- 浦代上河田邊
- 卓之夫雄一男
- 三宮毛横米金
- 瓶武利山山子
- 友忠正昌幸
- 三通徳夫俊市
- 三宮森吉李佐
- 橋塚茂開貞藤
- 定義太郎文頊一
- 廣夫郎文頊一
- 水向森吉和福
- 谷井下越田田
- 義卓盛捨英
- 郎廣也次造雄
- 宮村八吉和宮
- 崎田乙田仁田
- 一輝盛一達
- 郎夫男郎美勇
- 宮村矢吉脇矢
- 崎松野田澤
- 義三照俊八
- 成郎雄男正郎

土 木 學 會 各 員 數

會 員	准 員	學 生 員	特 別 員	贊 助 員	合 計
3882	4935	1228	95	27	9667

會 員 飯尾了二君の訃報に接す、本會は恭しく哀悼の意を表す

復舊成れる天狗橋 (石川縣)

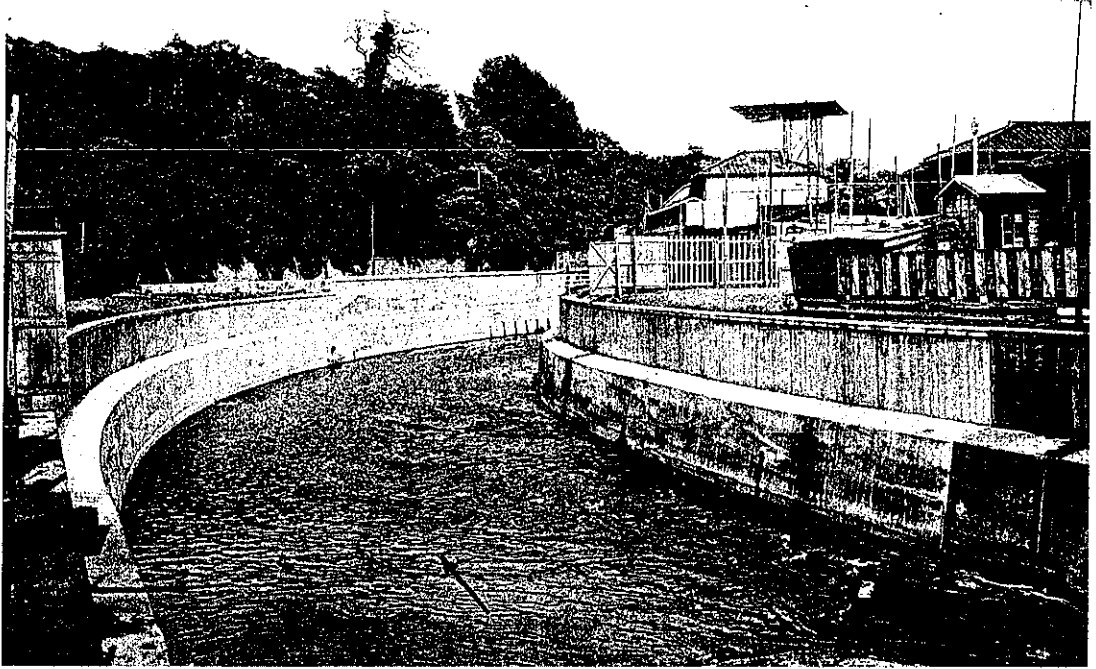


橋梁延長： 212.7 m, 有効幅員： 4.5 m, 荷重： 舊三等荷重, 中央徑間： 110.90 m
側徑間： 50.45 m, 使用鋼材： 60.4 t, 使用鋼索： 27.3 t, 使用セメント： 11 050 袋
工 費： 123 000 圓, 施 工： 石川縣直營

竣功せる2河川改修工事(東京府)

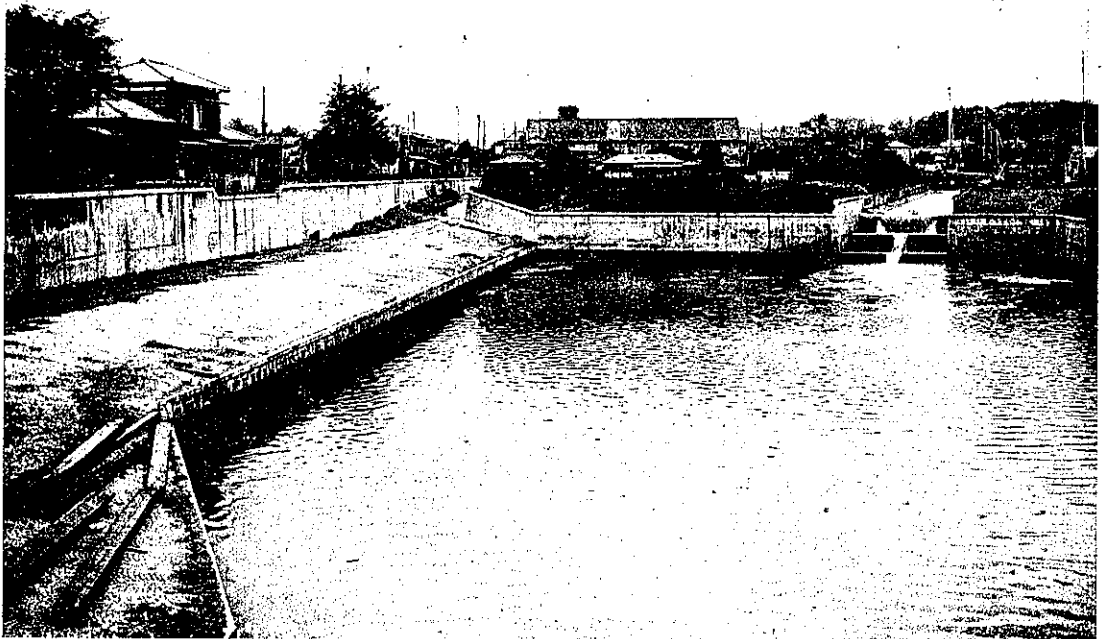
(時報欄参照)

神田上水(舊市郡界上流より下流を見たる情況)



目黒川(田楽橋より上流を望む)

運河區域終點部に築設せる舟入場



DOBOKU-GAKKAI-SI

(JOURNAL OF THE CIVIL ENGINEERING SOCIETY)

VOL. XXVI, NO. 7, JULY 1940.

CONTENTS

Proceedings of the Society.....	Page 41
Papers	
On the Economical Operation of the Dredging Pump, Especially for the Relay Pumps. By Hisao Kudō, C. E., Member	715
On the Effect of the Improvement Works of the Upper Tenriu-River. By Sennosuke Kusunoki, C. E., Member	733
Notes on Matters of Interest	745
Abstracts of Selected Articles	759
Current Notes	773
Patent News	777
New Publications	779

OFFICE

No. 6, 3-TYŌME, MARUNOUTI, KŌZIMATI-KU, TŌKYŌ, JAPAN.

昭和十五年七月一日發行
土木學會誌
第七號